

会 見 年 月 日	令和6年6月3日（月曜日）		
担 当 課	企画政策課	（担当者名：古谷、深澤）	
問い合わせ先	TEL：0791-43-6867	（内線：2454）	FAX：0791-43-6822

## ル・ポン国際音楽祭2024 赤穂・姫路の開催について

### 1 趣 旨

ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の第一コンサートマスター榎本大進氏が音楽監督を務めるル・ポン国際音楽祭2024 赤穂・姫路を下記の日程で開催します。

この音楽祭は、榎本大進氏と親交のある世界で活躍中のアーティストを招いて室内楽の楽曲をお届けするもので、2012年（平成24年）から姫路市と共同で開催しています。

### 2 日程・会場

令和6年10月6日（日）～10月13日（日）

10月6日（日）	開演 17時	赤穂化成ハーモニーホール（大ホール）
10月7日（月）	開演 18時30分	赤穂化成ハーモニーホール（大ホール）
10月9日（水）	開演 19時	姫路城二の丸特設会場
10月10日（木）	開演 19時	姫路城二の丸特設会場
10月12日（土）	開演 14時30分	書写山圓教寺三の堂特設会場
10月13日（日）	開演 18時	アクリエひめじ（大ホール）

※ 野外会場の公演（姫路城二の丸・書写山圓教寺三の堂）は、雨天の場合、会場をアクリエひめじ中ホールに変更します。

【裏面へ】

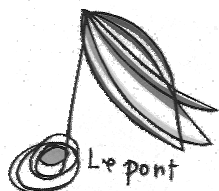
### 3 出演予定者 10カ国15名（うち初参加2名）

ヴァイオリン	檜本 大進	日本
	ナタリア・ロメイコ	ロシア
	ボリス・プロフツィン	ロシア
ヴィオラ	ギャレス・ルベ	南アフリカ
	川本 嘉子	日本
チェロ	クラウディオ・ボルケス	ドイツ
	趙 静	中国
コントラバス	ナビル・シェハタ	ドイツ
クラリネット	ポール・メイエ	フランス
	ヴェンツェル・フックス	オーストリア
バスン	ジルベール・オダン	フランス
ホルン	ラドヴァン・ヴラトコヴィチ ◎初参加	クロアチア
ピアノ	エリック・ル・サージュ	フランス
	アレッシオ・バックス	イタリア
歌手（テノール）	マーク・パドモア ◎初参加	イギリス

※ 出演者は6月3日現在の予定です。やむを得ない事情により、変更になる場合があります。

問合せ先 赤穂国際音楽祭事務局（赤穂市市長公室企画政策課内）  
 Tel 0791-43-6867 Fax 0791-43-6822  
 Mail kikaku@city.ako.lg.jp  
 姫路国際音楽祭事務局  
 （姫路市観光経済局観光コンベンション室文化国際課内）  
 Tel 079-221-2098 Fax 079-221-2419  
 Mail bunkakokusai@city.himeji.lg.jp

# ル・ポン国際音楽祭2024 赤穂・姫路



2024. 10. 6～2024. 10. 13

赤穂国際音楽祭 事業計画書  
令和6年(2024年)5月



芸術文化振興基金助成事業

## ● 目的

- ① 赤穂においてクラシック音楽を市民が、特に将来を担う子どもたちが気軽に楽しめる環境をつくりだすこと。
- ② 異なる文化圏からの音楽家たちや来訪者と市民との交流の機会を提供すること。
- ③ 豊かな自然環境や歴史・文化に恵まれたまち「赤穂＝AKO」の名前を改めて全国へ、そして世界に向けて発信し、観光振興、定住促進等に寄与すること。

## ● 経緯

赤穂市に縁がある世界的ヴァイオリン奏者榎本大進氏から、世界の実力派演奏家を「ふるさと赤穂」に招き、ヨーロッパで開かれているような市民手づくりの音楽祭を定期的で開催できないかとの提案を受け、2007年から同氏を音楽監督に迎え、同氏と親交のあるヨーロッパを中心に活躍中の演奏家を招いて国際音楽祭を開催している。

2012年から姫路国際音楽祭と共同開催。

## ● 名称

ル・ポン国際音楽祭 2024 赤穂・姫路

【英文表記】 Le Pont International Music Festival 2024 Ako & Himeji

Le Pont(ル・ポン)とは、フランス語で「架け橋」を意味する。この音楽祭が音楽と平和、現在と未来、赤穂・姫路と近隣自治体、東日本や熊本など、被災地から世界にまで広がる「架け橋」となるようにとの願いを込めて。

## ● 期間

「ル・ポン国際音楽祭 2024 赤穂・姫路」は、2024年(令和6年)10月6日(日)から10月13日(日)までの8日間とし、赤穂市では、10月6日(日)～10月7日(月)の間、赤穂化成ハーモニーホールを会場として2公演を行う。

## ● 主催等

音楽監督 榎本大進

主 催 姫路国際音楽祭実行委員会、赤穂国際音楽祭実行委員会

共 催 姫路市、姫路市教育委員会、公益財団法人姫路市文化国際交流財団  
赤穂市、赤穂市教育委員会、公益財団法人赤穂市文化とみどり財団

後 援 兵庫県（予定）

※アーティストは個人の自由参加であるので、関係国大使館の後援は求めない。

助 成 独立行政法人日本芸術文化振興会、公益財団法人中内力コンベンション振興財団

協 力 株式会社ジャパン・アーツ、書寫山山圓教寺

## ● 基本方針

- (1) 榎本大進氏を音楽監督とし、同氏と親交のある世界で活躍中のアーティスト（以下「招待演奏家」という）による室内楽の楽曲（ソロ又は数人程度のアンサンブルによって演奏される曲）の演奏を中心としたプログラムとする。
- (2) 姫路国際音楽祭との共同開催とし、低料金で開催する。
- (3) 音楽祭の運営には、多くの市民の参加を得るとともに、演奏家と聴衆、市民との様々な交流の機会を創出する。

## ● 今年のテーマ

作曲家フランツ・シューベルトがテーマ

## ● 演奏会の日程

### 【赤穂国際音楽祭】

#### ■10月6日（日）

- ・プリコンサート（赤穂化成ハーモニーホール 小ホール 開演 14時00分）
- ・招待演奏家によるコンサート  
(赤穂化成ハーモニーホール 大ホール 開場 16時15分 開演 17時00分)

#### ■10月7日（月）

- ・招待演奏家によるコンサート  
(赤穂化成ハーモニーホール 大ホール 開場 17時45分 開演 18時30分)

### 【姫路国際音楽祭】

#### ■10月9日（水）

- ・招待演奏家によるコンサート（姫路城二の丸特設会場 開演 19時00分）

## ■10月10日（木）

- ・招待演奏家によるコンサート（姫路城二の丸特設会場 開演 19時00分）

## ■10月12日（土）

- ・招待演奏家によるコンサート（書写山圓教寺三の堂特設会場 開演 14時30分）

## ■10月13日（日）

- ・ホリデープログラム（アクリエひめじ 中ホール 開演 13時30分）
- ・招待演奏家によるコンサート（アクリエひめじ 大ホール 開演 18時00分）

## ● 出演者

檜本大進氏のほか、音楽監督として同氏が推薦する演奏家

10カ国15名参加予定（うち初参加2名）

ヴァイオリン	檜本 大進	日本
	ナタリア・ロメイコ	ロシア
	ボリス・ブロフツィン	ロシア
ヴィオラ	ギャレス・ルベ	南アフリカ
	川本 嘉子	日本
チェロ	クラウディオ・ボルケス	ドイツ
	趙 静	中国
コントラバス	ナビル・シェハタ	ドイツ
クラリネット	ポール・メイエ	フランス
	ヴェンツェル・フックス	オーストリア
バスーン	ジルベール・オダン	フランス
ホルン	ラドヴァン・ヴラトコヴィチ ◎初参加	クロアチア
ピアノ	エリック・ル・サージュ	フランス
	アレッシオ・バックス	イタリア
歌手（テノール）	マーク・パドモア ◎初参加	イギリス

- プログラム（※やむを得ない事情により、出演者・曲目が変更になる場合があります。）

◆音楽祭第1日目(10月6日/日) (赤穂国際音楽祭)		
招待演奏家によるコンサート (赤穂化成ハーモニーホール 開場 16時15分 開演 17時00分)		
フランツ・シューベルト	序曲 ハ短調 D 8	ロメイコ(Vn)、榎本(Vn)、 ルベ(Va)、川本(Va)、 ボルケス(Vc)、シェハタ(Cb)
ヨハン・フンメル	クラリネット四重奏曲 変ホ長調 S.781	メイエ(Cl)、ブロフツイン(Vn)、 川本(Va)、趙(Vc)
ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン	ホルン・ソナタ ヘ長調 Op.17	ヴラトコヴィチ(Hr)、 ル・サージュ(Pf)
— 休憩 —		
フランツ・シューベルト	白鳥の歌 D 957 No.1-7	ボックス(Pf)、パドモア(Ten)
フランツ・シューベルト	ピアノ三重奏曲第1番 変ロ長調 Op.99 D 898	ボックス(Pf)、ブロフツイン(Vn)、 趙(Vc)
◆音楽祭第2日目(10月7日/月) (赤穂国際音楽祭)		
招待演奏家によるコンサート (赤穂化成ハーモニーホール 開場 17時45分 開演 18時30分)		
フランツ・シューベルト	アダージョとロンド・コンチェルタンテ D 487	ロメイコ(Vn)、ルベ(Va)、趙(Vc)、 ル・サージュ(Pf)
フランツ・シューベルト	魔王 D 328	パドモア(Ten)、ル・サージュ(Pf)
イェルク・ヴィトマン	2本のヴァイオリンとヴィオラと3本のチェロ	ブロフツイン(Vn)、榎本(Vn)、 川本(Va)、ボルケス(Vc)、 趙(Vc)、シェハタ(Cb)
ルイ・シュポア	アダージョ Wo035	ボックス(Pf)、オダン(Bn)
フェリックス・メンデルスゾーン	演奏会用小品第2番 Op.114	フックス(Cl)、メイエ(Cl)、 ボックス(Pf)
— 休憩 —		
フランツ・シューベルト	流れの上で D 943	パドモア(Ten)、 ヴラトコヴィチ(Hr)、ボックス(Pf)
フランツ・シューベルト	弦楽五重奏曲 D 956	榎本(Vn)、ロメイコ(Vn)、 ルベ(Va)、ボルケス(Vc)、趙(Vc)

◇音楽祭第3日目(10月9日/水) (姫路国際音楽祭)		
招待演奏家によるコンサート(姫路城二の丸特設会場 開場 18時15分 開演 19時00分) ※雨天時:アクリエひめじ中ホール		
ヴォーン・ウィリアムズ	ウェンロック・エッジ	パドモア(Ten)、ブロフツイン(Vn)、ロメイコ(Vn)、川本(Va)、ホルケス(Vc)、バックス(Pf)
アントニーン・レイハ	ホルン五重奏曲 Op.106	ヴラトコヴィチ(Hr)、樫本(Vn)、ブロフツイン(Vn)、ルベ(Va)、趙(Vc)、シェハタ(Cb)
— 休憩 —		
ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン	クラリネットとバスーンのための二重奏曲 第2番 WoO27	フックス(Cl)、オダン(Bn)
フランツ・シューベルト	ピアノ三重奏曲第2番 Op.100 D 929	ロメイコ(Vn)、ホルケス(Vc)、ル・サーージュ(Pf)
◇音楽祭第4日目(10月10日/木) (姫路国際音楽祭)		
招待演奏家によるコンサート(姫路城二の丸特設会場 開場 18時15分 開演 19時00分) ※雨天時:アクリエひめじ中ホール		
フランツ・ラフナー	森の小鳥 Op.28 No.1	パドモア(Ten)、ヴラトコヴィチ(Hr)、ル・サーージュ(Pf)
アントニーン・レイハ	バスーンと弦楽四重奏のための変奏曲 変ロ長調	オダン(Bn)、ロメイコ(Vn)、ブロフツイン(Vn)、ルベ(Va)、趙(Vc)
フランツ・シューベルト	ピアノ五重奏曲「ます」 D 667	ブロフツイン(Vn)、川本(Va)、趙(Vc)、シェハタ(Cb)、ル・サーージュ(Pf)
— 休憩 —		
ヴァルター・ラブル	クラリネットとヴァイオリン、チェロ、ピアノのための四重奏曲 変ホ長調 Op.1	フックス(Cl)、樫本(Vn)、ホルケス(Vc)、バックス(Pf)
ガブリエル・フォーレ	歌曲集「優しい歌」 Op.61	パドモア(Ten)、ロメイコ(Vn)、樫本(Vn)、川本(Va)、ホルケス(Vc)、シェハタ(Cb)、ル・サーージュ(Pf)

◇音楽祭第5日目(10月12日/土) (姫路国際音楽祭)		
招待演奏家によるコンサート(書寫山園教寺三の堂特設会場 開場 14時00分 開演 14時30分) ※雨天時:アクリエひめじ中ホール		
フランツ・シューベルト	弦楽三重奏曲 D 471(断章)	樫本(Vn)、ルベ(Va)、 ボルケス(Vc)
リヒャルト・シュトラウス (F・ハーゼネール 編曲)	もう一つのティル・オイレンシュピーゲル	ロメイコ(Vn)、シェハタ(Cb)、 フックス(Cl)、オダン(Bn)、 ヴラトコヴィチ(Hr)
フランツ・シューベルト	アヴェ・マリア (エレンの歌 第3番 D 839)	パドモア(Ten)、樫本(Vn)、 ブロフツィン(Vn)、ルベ(Va)、 趙(Vc)、シェハタ(Cb)
— 休憩 —		
フランツ・シューベルト	弦楽四重奏曲第14番 二短調 D 810 死と乙女	ブロフツィン(Vn)、ロメイコ(Vn)、 川本(Va)、趙(Vc)
◇音楽祭第6日目(10月13日/日) (姫路国際音楽祭)		
招待演奏家によるコンサート (アクリエひめじ 大ホール 開場 17時15分 開演 18時)		
フランツ・シューベルト	弦楽三重奏曲第2番 変ロ長調 D 581	ブロフツィン(Vn)、川本(Va)、 趙(Vc)
フランツ・シューベルト	ノットウルノ D 897	樫本(Vn)、趙(Vc)、バックス(Pf)
フランツ・シューベルト	白鳥の歌 D 957 No.8-14	バックス(Pf)、パドモア(Ten)
— 休憩 —		
フランツ・シューベルト	八重奏曲 D 803	ロメイコ(Vn)、樫本(Vn)、 ルベ(Va)、ボルケス(Vc)、 シェハタ(Cb)、フックス(Cl)、 オダン(Bn)、ヴラトコヴィチ(Hr)

● 演奏会場 (赤穂会場)

- (1) 赤穂市文化会館 赤穂化成ハーモニーホール  
客席数 1,120 席



## ● チケット販売【姫路・赤穂公演】

## 一般チケット

- (1) 発売価格 全席（指定席） 1人 1,000円（税込）※未就学児入場不可。
- (2) 発売開始 8月2日（金）午前9時から（プレイガイドは午前10時から）
- (3) 購入方法
  - ① プレイガイド（ローソン、ぴあ）、窓口販売（赤穂会場及び姫路会場：赤穂化成ハーモニーホールで直接申し込む。）
  - ② 赤穂会場のチケットを購入する場合は、1回の受付で1人1公演につき4枚まで（1回の受付で1人2公演8枚を限度とする。姫路会場のチケットも窓口販売予定。）
  - ③ 姫路会場のチケットを購入する場合は、1人1公演につき4枚まで。  
※プレイガイド及び窓口販売（赤穂化成ハーモニーホールで直接申し込む。）
  - ④ 電話予約は、赤穂会場のみ残席がある場合に限り受け付ける。  
8月8日（木）午前10時から午後5時15分（以降、午前9時から午後5時15分）  
火曜休館日を除く。※姫路会場の電話予約は行わない。

## ファミリーチケット

- (1) 発売価格 全席指定 1人 500円（税込）
- (2) 購入方法
  - ① 赤穂化成ハーモニーホール2階席（10/6,7各日24席（計48席））、姫路城二の丸特設会場（10/9,10各日24席（計48席））、書写山圓教寺特設会場（10/12 24席）、アクリエひめじ（10/13 72席）で実施する。
  - ② 往復はがきによる申込みとし、はがき1枚につき1組のファミリーの申込みとする。
  - ③ 申し込みができる子どもは小学生又は中学生と保護者（高校生以上。父母でなくとも可）の4人まででの申込みとする。（保護者の数が子どもの数を超えないこと）
  - ④ 保護者及び子どもの名前と年齢、学年を明記する。
  - ⑤ 複数枚のはがき応募がある場合は、無効とする。
  - ⑥ 入場時にペアの確認をする。
  - ⑦ 申込みの締切日は7月12日（金）とする。（消印有効）
  - ⑧ 申込み多数の場合は抽選とし、抽選結果は返信はがきで通知する。
- (3) 往復はがき記入方法
  - ① 赤穂化成ハーモニーホール  
往信 [表] 〒678-0232 赤穂市中広 864  
赤穂市文化会館「赤穂国際音楽祭 ファミリーチケット係」宛  
[裏] 郵便番号、住所、氏名（子どもの氏名と年齢、学年）、電話番号、公演日  
返信 [表] 申込者の郵便番号、住所、氏名 / [裏] 白紙

- ② 姫路会場  
インターネットによる申込

以下、姫路国際音楽祭のチケット販売

**姫路市民先行販売**

- (1) 発売価格 全席（指定席） 1枚 1,000円（税込）  
 (2) 販売枚数 600枚（姫路城100枚×2日、書写山100枚、アクリエ300枚）  
 (3) 購入方法
- ① 姫路市内に住所を有する方を対象に、一般販売前に購入申込を受付する。  
 ② 申込みは、一人1公演につき2名まで（いずれも姫路市民）とし、重複申込は不可とする。  
 ③ 申込みは、電子申請（インターネットによる申込）のみとする。  
 「姫路市オンライン手続ポータルサイト」にアクセスし、「ル・ポン国際音楽祭 2024 姫路市民先行販売申込フォーム」で必要事項を入力  
 ④ 申込期間は、7月1日（月）から7月16日（火）まで  
 ⑤ 申込み多数の場合は抽選とし、抽選結果をメールにて通知する。  
 ⑥ 当選者は、有効期間内に姫路キャスパホールまたはパルナソスホールの窓口にて購入する。期間内に購入がなかった場合は、当選は無効とし一般販売等に回す。

● **関連行事**

(1) プリコンサート

ハーモニー弦楽アンサンブル教室（※）

演奏者が赤穂市及び近隣市町以遠から参加する場合は、往復交通費を主催者が負担するが、報酬に関しては海外アーティストと同様ボランティア出演とする。

※一人でも多くの赤穂の子どもたちに楽器に親しんでもらいたいという強い思いから、樫本大進氏が平成13年に赤穂市に寄贈したヴァイオリン20挺を使用して、平成14年から始まった子どもたちのためのヴァイオリン教室。

【日時】 10月6日（日） 14時開演  
 【場所】 赤穂化成ハーモニーホール 小ホール  
 【出演】 ハーモニー弦楽アンサンブル教室生 ほか（未定）

(2) ロビーコンサート

【日時】 10月6日（日） 本公演開場前  
 【場所】 赤穂化成ハーモニーホール ロビー  
 【出演】 ハーモニー弦楽アンサンブル教室生

(3) ほのぼのコンサート

【日時】 ①10月6日（日） 11時開演  
 （場所） 赤穂市民病院  
 （出演） 未定

②10月7日（月） 11時開演  
 （場所）赤穂中央病院  
 （出演）未 定

(4) 中高生のゲネプロ観覧会

日 時：10月7日（月）※時間未定

会 場：赤穂化成ハーモニーホール大ホール

内 容：中学生、高校生などを対象とした、公演前のゲネプロ観覧を実施する。

(5) 展示等（予定）

- 赤穂緞通による憩いの場を提供します。
- 黒猫「The47 Black Cats」がお迎えします。
- アーティストの似顔絵展
- 藍染め横断幕

● プログラム・グッズ等販売

- ・プログラム
- ・特製Tシャツ（半袖）
- ・エコバッグ
- ・キーホルダー

● 広報及びマーケティング

(1) 記者発表及び資料提供

事業計画決定後、記者発表、資料提供

また、樫本大進氏のインタビュー記事掲載、音楽祭期間中の記者レポートなどを働きかける。

(2) ポスター及びチラシ

音楽祭の公式ポスター及び公式チラシを作成し、赤穂市及び姫路市各所、市外コンサートホールなどにおいて掲示又は配布を行う。

(3) ホームページ及び市広報（SNSを含む）

赤穂・姫路国際音楽祭実行委員会の共通ホームページにより、音楽祭関連情報を随時掲載するとともに、広報「あこう」やLINE、Facebookにも音楽祭関連情報を定期的に掲載する。

## (4) のぼり・横断幕

音楽祭開催を告げるのぼり・横断幕を、駅前から赤穂化成ハーモニーホールまでの導線等に掲げ、音楽祭開催の機運を盛り上げる。

## (5) その他

各種観光情報媒体に音楽祭関連情報の掲載を働きかける。

## ● ボランティア募集

音楽祭が広く市民に浸透するように、音楽祭企画・運営（受付、チケット確認、案内、警備、演奏者の接待、通訳等）に市民ボランティアの参画を広く募る。

- (1) サービスボランティア：コンサート会場での来場者対応等
- (2) 通訳ボランティア：出演者の通訳補助（英語等）

## ● 協賛金・寄付金の募集【赤穂・姫路公演】

## 協 賛 の 特 典

◆協賛金は、ル・ポン2024事業全般にわたる経費に充当する。

## ○ポスター、チラシ等への企業名の掲載

令和6年6月下旬（予定）までに申出をいただいた場合、希望によりポスター、チラシ、ホームページ及びプログラムに企業名を掲載する。

## ○演奏会、交流パーティーへの招待

区 分	赤穂市		姫路市				姫路市
	赤穂化成 ハーモニーホール		姫路城二の丸		書写山 圓教寺	アクリエ ひめじ	交流パーティー
	(10/6)	(10/7)	(10/9)	(10/10)	(10/12)	(10/13)	(10/12)
協 賛	4名【注1】						2名【注3】
大口協賛 (6口以上)	6名【注2】						6名【注4】

\* 1口5万円をお願いする。

【注1】 赤穂市及び姫路市での演奏会のうち、希望する2公演に2名ずつ（計4名）招待する。

【注2】 赤穂市及び姫路市での演奏会のうち、希望する3公演に2名ずつ（計6名）招待する。

【注3】 10月12日（土）の交流パーティーに2名まで招待する。

【注4】 10月12日（土）の交流パーティーに6名まで招待する。

**寄付の特典**

◆寄付金は、赤穂国際音楽祭実行委員会または姫路国際音楽祭実行委員会への寄付とし、各実行委員会が単独で開催する事業に充当する。

○プログラムへの芳名の掲載

希望によりプログラムに芳名を掲載する。(7月初旬締め切り)

○演奏会、交流パーティーへの招待

区 分	赤穂市		姫路市				姫路市
	赤穂化成 ハーモニーホール		姫路城二の丸		書写山 圓教寺	アクリエ ひめじ	交流パーティ
	(10/6)	(10/7)	(10/9)	(10/10)	(10/12)	(10/13)	(10/12)
寄付(姫路)	2名【注1】		2名【注1】				
寄付(赤穂)			2名【注2】				
大口寄付 (5口以上)	4名【注3】					2名【注4】	

\* 1口1万円をお願いします。

【注1】 赤穂国際音楽祭への寄付者は赤穂会場の希望する公演に、姫路国際音楽祭への寄付者は姫路会場の希望する公演に、それぞれ2名招待する。

【注2】 赤穂国際音楽祭への寄付者は、赤穂化成ハーモニーホールについて先着150人、最高300枚(1人2枚まで)の優先販売を行う。(一般と同種の席を優先的に確保し、先着販売する。)

【注3】 大口寄付者は、赤穂市及び姫路市での演奏会のうち希望する2公演に2名ずつ(計4名)招待する。

【注4】 大口寄付者は、10月12日(土)の交流パーティーに2名招待する。

## ～ アーティスト紹介 ～

<p>樫本 大進        &lt;ヴァイオリン&gt;</p>	<p>1979年ロンドン生まれ。1990年、第4回バッハ・ジュニア音楽コンクールでの第1位を皮切りに、1996年のフリッツ・クライスラー、ロン＝ティボーの両国際音楽コンクールでの1位など、5つの権威ある国際コンクールにて優勝。</p> <p>ドイツを拠点にソリストとして世界の舞台で演奏する傍ら、2010年よりベルリン・フィルの第1コンサートマスターを務める。</p> <p>使用楽器は、株式会社クリスコ（志村昌代表取締役）から貸与された1774年製デル・ジェス「ド・ベリオ」。</p> <p>3歳よりヴァイオリンを恵藤久美子に学び、7歳でジュリアード音楽院プレカレッジに入学、田中直子に師事。11歳の時、名教授ザハール・ブロンに招かれリュベックに留学し、20歳よりフライブルク音楽院でライナー・クスマウルに師事。修士課程においてグスタフ・シュック賞を受賞のうえ修了。</p> <p>これまで、マゼール、小澤征爾、ヤンソンスなど著名指揮者のもと、国内外のオーケストラと共演を重ねているほか、室内楽の分野でも、クレーメル、バシュメット、マイスキー、堤剛、パユなど世界有数のソリストと共演。2007年、兵庫県で室内楽の音楽祭「ル・ポン国際音楽祭 赤穂・姫路」を自ら音楽監督として創設し、赤穂市・姫路市にて毎年開催している。</p> <p>2010年、ベルリン・フィル第1コンサートマスターに就任。同団とは、本拠地ベルリンおよびツアーでの演奏会で、音楽監督ラトルやネルソンス指揮のもとソリストとしても共演している。</p> <p>2014年、ピアノのリフシツとのベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ全曲収録CDがワーナー・クラシックスより世界リリースされ、高い評価を得ている。</p> <p>1995年アリオン音楽賞、1997年出光音楽賞、モービル音楽賞、1998年新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞、平成9年度芸術選奨文部大臣新人賞、2011年兵庫県文化賞、チェンジメーカー2011クリエイター部門、2017年姫路市芸術文化大賞、2021年赤穂市政特別功労者顕彰、ドイツに於いてはシュタインゲンベルガー賞、ダヴィドフ賞を受賞。</p>
<p>ナタリア・ロメイコ        Natalia Lomeiko        &lt;ヴァイオリン&gt;        ル・ポン参加：2007～2010、2012～2013、2015～2018、        2022～2023年        【13回目の参加】</p>	<p>1979年ノボシビルスク（ロシア）生まれ。2000年パガニーニ・国際ヴァイオリン・コンクール第1位、同時に金賞受賞、2003年マイケル・ヒル国際ヴァイオリン・コンクール第1位。7歳の時にノボシビルスク響でデビューして以来、メニューイン卿指揮のロイヤル・フィルやフィルハーモニア管を始めとする世界の一流オーケストラのソリストとして活躍。ウィグモア・ホール、バッキンガム宮殿などで演奏会を行い、ギドン・クレーメル、ユーリ・バシュメット、シュロモ・ミンツ、樫本大進等と共演。2011年ロンドンの王立音楽大学教授に就任。近年は、2009年夫であるユーリ・ジスリンとレコーディングを行ったほか世界中で室内楽公演に参加している。</p>
<p>ボリス・ブロフツィン        Boris Brovtsyn        &lt;ヴァイオリン&gt;</p>	<p>1977年生まれ。6歳のとき、ボリショイ劇場で初演奏を行う。1993年9月には、ローマ教皇ヨハネ・パウロ2世に御前演奏を披露。1994年にモスクワ音楽院に入学し、1998年ユーディ・メニューイン国際コンク</p>

<p>ル・ポン参加：2013～2016、 2018、2022 年 【7 回目の参加】</p>	<p>ルで第 3 位などの栄誉を得たのち、1999 年に首席で当校を卒業した。2001 年エリザベート王妃国際音楽コンクールではファイナリストに選ばれる。2002 年にはティボー・ヴァルガ国際ヴァイオリンコンクール(スイス)で優勝。ネヴィル・マリナー、ユーリ・バシュメット、ゲルト・アルブレヒト、ネーメ・ヤルヴィ、アレクサンドル・ラザレフらとストラスブルール・フィル、モンテカルロ・フィル、ベルリン放送響、スイスロマン管弦楽団、ワルシャワ・フィル、サンパウロ響などと演奏、ヴェルビエ音楽祭、ルガーノ音楽祭、エディンバラ国際フェスティバル、エルサレム室内楽フェスティバルなど多数の音楽祭に招かれている。室内楽では、ジャニーヌ・ヤンセン、マキシム・リザノフ、アミハイ・グロスらと活発に活動している。</p>
<p>ギャレス・ルベ Gareth Lubbe 〈ヴィオラ〉 ル・ポン参加：2008～2009、2012 2014、2018～2019、2021～2022 年 【9 回目の参加】</p>	<p>1976 年南アフリカ・ヨハネスブルグ生まれ。4 歳のときからピアノとヴァイオリンを学び、9 歳でヨハネスブルグのオーケストラでヴァイオリン奏者としてデビュー。その後も国内や地域のコンクールで数々の賞を獲得。</p> <p>ドイツに留学後、リュウベックでバルバラ・ウェストファールに師事し、ヴィオラで修士号を取得。ヨーロッパ、アメリカ、アフリカ、アジアで、ソロ活動を行うほかマーラー室内管弦楽団やライブチヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団の首席ヴィオラ奏者として、クラウディオ・アバド、リッカルド・シャイーやダニエル・ハーディング等の指揮のもとで演奏した。また、主に現代音楽の分野でヨーロッパにおいて著名なアンサンブル・ゲルパークランクのメンバーとして活躍し、BBC やヨーロッパの主要ラジオ局のためにレコーディングを行っている。</p>
<p>川本 嘉子 〈ヴィオラ〉 ル・ポン参加：2008 年 【2 回目の参加】</p>	<p>3 歳よりヴァイオリンを始める。桐朋学園子供のための音楽教室、桐朋女子高等学校音楽科を経て同大学を卒業。これまでに、ヴァイオリンを江藤俊哉、鈴木愛子、室内楽を末吉保雄、原田幸一郎の各氏に師事。</p> <p>1991 年、東京都交響楽団への入団をきっかけにヴィオラに転向。1999 年より 2002 年退団まで首席奏者を務めた。アメリカのタングルウッド音楽祭、マールボロ音楽祭、スイスのダボス音楽祭などのほか、サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管弦楽団、アルゲリッチ音楽祭等にも定期的に参加し、マルタ・アルゲリッチやユーリ・バシュメットなど世界一流のソリスト達と共演し絶賛を博している。ソリストとしては、これまでにガリー・ベルティーニ、ジャン・フルネ、ペーター・マークなどの著名な指揮者と共演。</p> <p>CD は「J. S. バッハ：ヴィオラ・ダ・ガンバとチェロのためのソナタ」「シャコンヌ 無伴奏ヴィオラ作品集」等をリリース。</p> <p>1989 年東京国際音楽コンクール室内楽部門優勝(イグレック・クアルテット)。1992 年ジュネーヴ国際音楽コンクール・ヴィオラ部門で最高位(1 位なしの 2 位)、1996 年村松賞、1997 年第 7 回新日鉄音楽賞・フレッシュアーティスト賞、2015 年東燃ゼネラル音楽賞・奨励賞の各賞を受賞。</p> <p>2017 年より 2021 年 3 月まで NHK 交響楽団の首席客演奏者を務めた。京都アルティ弦楽四重奏団、AOI・レジデンス・クワルテットのメンバーとしても活躍。</p> <p>小澤音楽塾、愛知室内オーケストラでは弦楽器アドヴァイザーとして、後進の育成にも積極的に力を注いでいる。</p> <p>類稀なる表現力とテクニックで聴衆を魅了し、日本を代表する</p>

<p>クラウディオ・ボルケス Claudio Bohorquez 〈チェロ〉 ル・ポン参加：2007～2010、 2012、2014～2019、2021～2022 年 【14回目の参加】</p>	<p>ヴァイオラ奏者の1人として常に第一線で活躍している。</p> <p>ペルーとウルグアイ出身の両親を持ちドイツに生まれる。チェロをボリス・ペルガメンシコフに支持。「若い音楽家のためのチャイコフスキー国際コンクール」や「ロストロポーヴィチ・チェロ・コンクール」などで入賞を重ね、1995年「ジュネーブ国際音楽コンクール」優勝、2000年第1回「パブロ・カザルス国際コンクール」で第1位および最も優れた室内楽演奏に贈られる特別賞を受賞。</p> <p>その後、ソリストの傍ら、2011年から2016年までシュトゥットガルト音楽大学の教授として後進の指導にあたり、2016年には、2003年より客員教授を務めているベルリンのハンス・アイスラー音楽大学の教授に就任。これまで世界中の名門オーケストラと共演、また、世界各地の音楽祭にも招かれており、高い評価を得ている。2017年には、ヴェネンデン音楽祭の芸術監督に就任した。</p> <p>使用楽器は、バーデン＝ヴュルテンブルグ州立銀行から贈られたチェロ「G. B. ロゲーリ」。</p>
<p>趙 静 〈チェロ〉 ル・ポン参加：2008、2011、2019 年 【4回目の参加】</p>	<p>難関ミュンヘン国際音楽コンクールで第1位を受賞し、2009年には日本のエクソンモービル音楽賞を受賞。小澤征爾、ロリン・マゼール、リッカルド・ムーティ、アンドリス・ネルソンス、チョン・ミョンフン、ムーハイ・タン、ミハイル・プレトニョフ、ユーリー・バシユメット、小林研一郎、ジャン・フルネ、エリアフ・インバル等、趙静は世界の一流指揮者との共演を重ねている。また、NHK交響楽団、ベルリン交響楽団、新日本フィルハーモニー管弦楽団、北京交響楽団、バイエルン放送管弦楽団、ミュンヘン室内管弦楽団、香港フィルハーモニー、韓国のKBSフィルハーモニー、北ドイツ放送交響楽団、スカラ座フィルハーモニー管弦楽団、シドニー交響楽団、シンガポール交響楽団等多くの世界的名門オーケストラと共演を果たしている。</p> <p>マニュエル・パユ、ガイ・ブラウンシュタイン、榎本大進、ポール・メイエ、ボリス・ベレゾフスキー、エリック・ル・サージュ、アントワン・タメステイ、コンスタンチン・リフシツ、トレヴァー・ピノックらと共演している。チョン・ミョンフンと共にアジアツアーを行った際には、日本の皇太子殿下との共演にも招かれた。また、ドーラ・シュヴァルツベルクと共にアルゲリッチに選ばれ、アルゲリッチのルガーノ・フェスティバルの期間中にチャイコフスキーの三重奏曲を演奏、録音した。今ではこのフェスティバルの常連ゲストとなっている。そのほかエルサレム国際室内楽フェスティバル、ザグレブ国際フェスティバル、ザグレブ室内楽フェスティバル、Roland's Ecke in Bonn WH、バート・キッシンゲン、イスタンブール国際フェスティバル、アルゲリッチの別府フェスティバル、ラ・フォル・ジュルネ等多くのフェスティバルに出演している。使用楽器は私立財団より貸与されているモンタニャーナ(1738年)。</p>
<p>ナビル・シェハタ Nabil Shehata 〈コントラバス〉 ル・ポン参加：2010、2012 ～2017、2019、2023年 【10回目の参加】</p>	<p>1980年クウェート生まれ。4歳よりドイツに在住。9歳でコントラバスを学ぶ。2003年難関ミュンヘン国際音楽コンクールにてコントラバス奏者として初の優勝を飾り、さらに聴衆賞も受賞。同年、ダニエル・バレンボイムの招きでベルリン国立歌劇場管の首席コントラバス奏者に就任。翌年にはベルリン・フィルの同ポストに就任。長年にわたりイスラエルとアラブ諸国の共存を理念とするウェスト＝イースタン・ディヴァン管のメンバーも務めている。</p> <p>2007年、ミュンヘン音楽大学の教授に就任し、ヨーロッパ、</p>



	<p>イスラエル、日本でのマスタークラスのほか、ベルリン・フィル・アカデミーでの指導を行う。</p> <p>また、ダニエル・バレンボイムやクリスティアン・ティーレマンの指導のもと指揮を学び、2007年に指揮者デビューを果たし好評を得た。2008年には、グスタボ・デュダメルに招かれ、シモン・ボリバル・ユース・オーケストラを指揮し、大成功を収めた。近年ではトゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団、京響、大阪フィル、新日フィル、デュッセルドルフ響なども指揮している。2011年よりミュンヘン室内歌劇場音楽監督。</p>
<p>ポール・メイユ Paul Meyer ＜クラリネット＞ ル・ポン参加：2007、2010、2012 ～2013、2015～2018、2022、 2023年 【11回目の参加】</p>	<p>名実共に世界のトップに立つクラリネット奏者。1965年アルザス生まれ。13歳でソリストとしてデビュー。パリ高等音楽院とバーゼル音楽院で学ぶ。フランス国内外のコンクールで優勝後、84年NYデビュー。ベニー・グッドマンに出会い親交を結ぶ。以来世界有数のソロ・クラリネット奏者として活躍。</p> <p>協奏曲のレパートリーは約100曲もの数にのぼり、完璧な技術とずば抜けた音楽性、品のある豊かな音色を併せ持つ天才クラリネット奏者として、ベリオ、ペンデレツキを始めとする数多くの作曲家達から曲を捧げられ、初演も多い。</p> <p>室内楽でも活発な活動を行っており、クレーメル、ヨーヨー・マ、デセイ、ピリス、ロストロポーヴィチ、スターン、バシュメット、パユ等世界一流のソリスト達、及び、エマーソン、ハーゲン、東京クワルテット等の弦楽四重奏団とも共演。パユやオーボエのフランソワ・ルルー等、現代最高のフランスの木管奏者達とアンサンブル、「レ・ヴァン・フランセ」を結成し、絶賛されている。</p> <p>著名なクラリネット奏者として活躍する一方、指揮者としてのキャリアも急速に築きつつある。これまでに、フランス国立放送フィルハーモニー管弦楽団を始めとするヨーロッパ各地の主要オーケストラ、台北交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団等を指揮。ルイサダのモーツァルト及びハイドンの2枚のCDのほか、ミヨーの協奏曲集のCDでも指揮者を務めている。ソウル・フィルハーモニー交響楽団の准首席指揮者を経て、2010年～2012年12月東京佼成ウインドオーケストラの首席指揮者を務めた。使用楽器はビュッフエ・クランボン。</p>
<p>ヴェンツェル・フックス Wenzel Fuchs ＜クラリネット＞ ル・ポン参加：2014、2021年 【3回目の参加】</p>	<p>1963年オーストリア生まれ。ウィーン音楽大学で学び、オーストリア科学芸術省賞を受賞。ウィーン・フォルクスオーパーの首席クラリネット奏者、オーストリア放送(ORF)交響楽団の首席クラリネット奏者を歴任し、1993年にベルリン・フィルの首席クラリネット奏者に就任。ベルリン・フィルのオーケストラ・アカデミーで教えるほか、ハンス・アイスラー音楽大学ベルリンで教授、日本の東京芸術大学及びくらしき作陽大学の客員教授、上海音楽院の名誉教授を務め、世界中でマスタークラスを行っている。</p>
<p>ジルベール・オダン Gilbert Audin ＜バスオン＞ ル・ポン参加：2010、2016、2018</p>	<p>1956年フランス生まれ。フランス式バスオンの第一人者。1973年にパリ国立高等音楽院に入学、バスオンをモーリス・アラールに、室内楽をクリスティアン・ラルデに学ぶ。同音楽院在学中、1975年バスオンで、1976年室内楽で一等賞を受賞。1975年ミュンヘン</p>

<p>～2019、2022～2023 年 【7 回目の参加】</p>	<p>国際ARD国際音楽コンクール第3位、1980年ジュネーヴ国際コンクール、1982年トウロン国際コンクールの両コンクールで第1位となる。</p> <p>現在、パリ・オペラ座管弦楽団の首席バスン奏者を務めるとともに、パリ国立高等音楽院の教授として後進の育成にもあたっている。</p> <p>オダンは、ポール・メイエがパユ、ル・サーージュらと主宰するアンサンブル、レ・ヴァン・フランセの重要なメンバーで、フランスのエスプリが輝く彼らの完璧なアンサンブルは絶賛されている。</p>
<p>ラドヴァン・ヴラトコヴィチ Radovan Vlatkovic ＜ホルン＞ ◎ 【ル・ポン初参加】</p>	<p>1962年ザグレブに生まれ、ザグレブ音楽アカデミーのブレラド・デティチェク教授、デトモルト音楽アカデミーのミヒャエル・ヘルツェル教授に師事。1979年のアンコーナ及び1983年のミュンヘンARDコンクールで一位を受賞するなど、国内外のコンクールで数多くの一位受賞歴がある。</p> <p>1982年から1990年までベルリン放送交響楽団で首席を務め、1992-1998シュツットガルト音大のホルン科教授、1998年にはザルツブルグ・モーツアルテウムホルン科教授を歴任。2000年以来、マドリードのクイーン・ソフィア・スクールでホルン科教授“Canon”の要職にある。</p> <p>彼のために書かれた曲の初演も多くてがけ、複数のディスクでドイツ批評家賞を受賞している。室内楽を含む録音はEMI、デッカ、フィリップス、ドイツ・グラモフォン、テルデック、ダブリングハウス&amp;グリーン、デンオンの各レーベルから出ている。</p> <p>2014年にはロイヤル・アカデミー・オブ・ミュージックより名誉会員に指名された。</p> <p>使用楽器は Paxman のダブルホルン M20 モデル、BRIZ のダブルホルン 2000TP</p>
<p>エリック・ル・サーージュ Eric Le Sage ＜ピアノ＞ ル・ポン参加：2008、2011、2015 ～2018、2021～2023 年 【10 回目の参加】</p>	<p>南仏エクサン・プロヴァンス生まれ。パリ国立高等音楽院を17歳で卒業後、ロンドンでマリア・クルチオに師事。1985年ポルト国際および89年ロベルト・シューマン国際第1位などのコンクール受賞歴を持つ。</p> <p>ウィグモア・ホール、シャトレ座、アムステルダム・コンセルトヘボウ、フランクフルト・アルテ・オーパー、ケルン・フィルハーモニー、カーネギーホールを含む著名コンサートホールに出演するほか、フィラデルフィア管、トロント響、シュトゥットガルト放送響、ドレスデン・フィル、フランス放送フィル、トゥールーズ・キャピトル国立管、ロイヤル・スコティッシュ・ナショナル管、ロッテルダム・フィル、読響、都響を含む数々のオーケストラと共演。</p> <p>優れた室内楽奏者としても知られ、1992年よりポール・メイエ（クラリネット）、エマニュエル・パユ（フルート）等と共にサロン・ド・プロヴァンス国際室内楽音楽祭を主宰。</p> <p>プーランクの室内楽作品全集、シューマンのピアノ曲・室内楽作品全集（2010年ドイツ・レコード批評家賞受賞）、フォーレの室内楽作品全集を含む多数のCDをリリース。</p> <p>フライブルク音楽大学教授。</p>

<p>アレッシオ・ボックス Alessio Bax &lt;ピアノ&gt; ル・ポン参加: 2018、2019、2022 年 【4回目の参加】</p>	<p>8歳でピアノを始め、翌年バーリ音楽院に入学。通常10年かかるコースをわずか5年で修了、首席で卒業した。16歳で全額奨学金を受けてアメリカ・ダラスの南メソジスト大学に入学。スペイン人の巨匠ホアキン・アチュカロに師事し、ピアノ演奏コースで音楽修士号を取得した。叙情的な演奏と洞察力に富んだ解釈で高く評価され、浜松国際ピアノコンクールとリーズ国際ピアノコンクールで優勝して以来、世界中の人々を魅了し続けている。</p> <p>これまでに、ロンドン・フィル、バーミンガム市響、ロイヤル・フィル等80以上のオーケストラに客演。サイモン・ラトル、マリン・オルソップなどと共演した。現在は、演奏活動の傍ら、南メソジスト大学で教鞭を執っている。</p>
<p>マーク・パドモア Mark Padmore &lt;歌手(テノール)&gt; ◎【ル・ポン初参加】</p>	<p>ロンドン生まれ。クラリネットを学んだ後、合唱の奨学金を得てケンブリッジ大学キングス・カレッジに進み、優等学士学位を授与された。深い洞察に富んだ解釈、確かな様式の把握、流れるような自然な歌唱は世界中で賞賛されており、リサイタル、オペラ、現代音楽の各分野で優れた才能を発揮している。とりわけ J.S.バッハの受難曲の演奏で定評があり、エヴァンゲリスト(福音史家)として、ピーター・セラーズ演出による「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」(サイモン・ラトル指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)に出演し、大きな注目を集めた。</p> <p>オペラでは、ピーター・ブルック、ケイティ・ミッチェル、マーク・モリス、デボラ・ワーナーら現代屈指の演出家たちとコラボレーションを重ねている。最近では、オールドバラ音楽祭およびロンドンでハリソン・バートウィッスルの《The Corridor》《The Cure》に出演したほか、グラインドボーン音楽祭でブリテンの《ビリー・バッド》ヴィア艦長役と「マタイ受難曲」エヴァンゲリスト役を任されている。また、ロイヤル・オペラ・ハウスでのジョージ・ベンジャミン作曲《Written on Skin》(天使/ジョン役)にも出演。今後は、タンシー・デイヴィスとトーマス・ラルヒャーがパドモアのために書いた作品の初演が控えている。</p> <p>コンサート活動にも積極的で、世界一流のオーケストラと共演を重ねるパドモアは、2016/17年シーズンのバイエルン放送交響楽団アーティスト・イン・レジデンスとして活躍。2017/18年シーズンには、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団で同様のポジションに就任する。エイジ・オブ・エンライトメント管弦楽団とは、共同企画としてバッハ「ヨハネ受難曲」「マタイ受難曲」を取り上げたほか、ブリテン・シンフォニアとも定期的に共演している。</p> <p>世界各地でのリサイタルも絶賛を博しており、シューベルトの三大歌曲集をアムステルダム、バルセロナ、バーミンガム、ロンドン、リバプール、パリ、東京、ウィーン、ニューヨークで演奏した。リサイタルのパートナーには、クリスティアン・ベズイデンホウト、ジョナサン・ビス、イモーゲン・クーパー、ジュリアス・ドレイク、ティル・フェルナー、サイモン・レツパー、ポール・ルイス、ロジャー・ヴィニョールズ、アンドリュー・ウェストら優れた音楽家たちが名を連ねる。また、サリー・ビーミッシュ、ハリソン・バードウィッスル、ジョナサン・ダヴ、トーマス・ラルヒャー、ニコ・マーリー、アレック・ロス、マーク=アンソニー・ターネジ、ヒュー・ワトキンス、ライアン・ウィッグルスワース、ハンス・ツェンダーといった作曲家が、パドモアのために作品を作曲している。</p> <p>セント・エンデリオン夏音楽祭(コーンウォール)芸術監督。</p>



# Le Pont

〈音楽監督〉  
檜本大進

## International Music Festival

# ル・ポン国際音楽祭2024

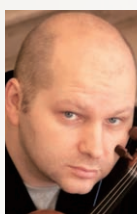
2024.10/6[日]▶13[日] 赤穂・姫路



音楽監督/ヴァイオリン  
檜本 大進



ヴァイオリン  
ナタリア・ロメイコ



ヴァイオリン  
ボリス・プロフツィン



ヴィオラ  
ギャレス・ルベ



ヴィオラ  
川本 嘉子



チェロ  
クラウディオ・ボルケス



チェロ  
趙 静



コントラバス  
ナビル・シェハタ



クラリネット  
ポール・メイエ



クラリネット  
ヴェンツェル・フックス



バスーン  
ジルバール・オダン



ホルン  
ラドヴァン・ヴレトコヴィチ



ピアノ  
エリック・ル・サージュ



ピアノ  
アレッシオ・バックス



テノール  
マーク・バドモア

### 赤穂会場

10/6[日] 開演17:00  
赤穂化成ハーモニーホール

10/7[月] 開演18:30  
赤穂化成ハーモニーホール

### 入場料

1,000円

※全席指定  
※未就学児入場不可

販売開始

8/2[金]

### 姫路会場

10/9[水] 開演19:00  
姫路城二の丸特設会場  
(雨天時:アクリエひめじ中ホール)

10/10[木] 開演19:00  
姫路城二の丸特設会場  
(雨天時:アクリエひめじ中ホール)

10/12[土] 開演14:30  
書寫山圓教寺特設会場  
(雨天時:アクリエひめじ中ホール)

10/13[日] 開演18:00  
アクリエひめじ大ホール

### チケット販売

- ローソンチケット [https://l-tike.com/\(Lコード:55588\)](https://l-tike.com/(Lコード:55588)) ※初日は10:00~
- チケットぴあ [https://t.pia.jp/\(Pコード:272-464\)](https://t.pia.jp/(Pコード:272-464)) ※初日は10:00~
- 赤穂化成ハーモニーホール窓口 ※受付時間 9:00~17:15

◎1回の受付で1人1公演につき4枚まで購入できます。  
※赤穂化成ハーモニーホール窓口は、1回の受付で1人1公演につき4枚、最大2公演8枚まで購入できます。  
◎姫路市民先行販売、ファミリーチケット先行販売がございます。詳しくは裏面およびホームページをご確認ください。



ル・ポン公式HP

※公演内容が変更になる場合がございます。予めご了承ください。  
※野外会場の公演は、天候により会場の変更や演奏会を中断・中止する場合がございます。最新情報をホームページやSNS等でご確認のうえ、ご来場ください。  
※季節柄、野外会場は冷え込むことも予想されます。服装に留意し、履きなれた靴でお越しください。

主催: 姫路国際音楽祭実行委員会、赤穂国際音楽祭実行委員会  
共催: 姫路市、赤穂市、姫路市教育委員会、赤穂市教育委員会、公益財団法人姫路市文化国際交流財団、公益財団法人赤穂市文化とみどり財団  
助成: 独立行政法人日本芸術文化振興会、中内カコンベンション振興財団  
協力: 株式会社ジャパン・アーツ、書寫山圓教寺

【お問い合わせ先】  
ル・ポン2024事務局  
姫路市文化国際課 TEL:079-221-2098  
赤穂市企画政策課 TEL:0791-43-6867  
FAX:0791-43-6822



芸術文化振興基金助成事業

### 協賛・寄付の募集について

音楽祭の趣旨にご賛同いただける企業・個人等を対象に協賛金・寄付金を募集します。  
詳しくはホームページ又は電話でご確認ください。

「ル・ポン(le pont)」とはフランス語で、「架け橋」を意味し、赤穂国際音楽祭及び姫路国際音楽祭の愛称として親しまれています。音楽監督・榎本大進氏の「音楽を架け橋に、人と人とのきずなを大切に、平和で幸せな世界を作りたい」という思いを受け、「一流の演奏家による室内楽を市民が気軽に楽しみ、奏者と聴衆の距離の近い音楽祭」を目指し、2007年から開催しています。また、音楽監督の呼びかけにより、音楽祭の趣旨に賛同する世界的演奏家がボランティアで出演しています。

## 10.6(日) 開演17:00 赤穂化成ハーモニーホール

シューベルト

白鳥の歌 D 957 No.1-7

シューベルト

ピアノ三重奏曲第1番 変ロ長調 Op.99 D 898 ほか

出演 榎本(Vn)、ロメイコ(Vn)、プロフツィン(Vn)、ルベ(Va)、川本(Va)、  
ボルケス(Vc)、趙(Vc)、シェハタ(Cb)、メイエ(Cl)、ヴラトコヴィチ(Hr)、  
ル・サーージュ(Pf)、バックス(Pf)、パドモア(Ten)

## 10.9(水) 開演19:00 姫路城二の丸特設会場

ヴォーン・ウィリアムズ

ウェンロック・エッジで

ベートーヴェン

クラリネットとバスーンのための二重奏曲第2番 Wo027

シューベルト

ピアノ三重奏曲第2番 Op.100 D 929 ほか

出演 榎本(Vn)、ロメイコ(Vn)、プロフツィン(Vn)、ルベ(Va)、川本(Va)、  
ボルケス(Vc)、趙(Vc)、シェハタ(Cb)、フックス(Cl)、オダン(Bn)、  
ヴラトコヴィチ(Hr)、ル・サーージュ(Pf)、バックス(Pf)、パドモア(Ten)

## 10.12(土) 開演14:30 書寫山圓教寺特設会場

R.シュトラウス(F.ハーゼネール編曲)

もう一人のティル・オイレンシュピーゲル

シューベルト

アヴェ・マリア(エレンの歌 第3番 D 839)

シューベルト

弦楽四重奏曲第14番 ニ短調 D 810「死と乙女」 ほか

出演 榎本(Vn)、ロメイコ(Vn)、プロフツィン(Vn)、ルベ(Va)、川本(Va)、  
ボルケス(Vc)、趙(Vc)、シェハタ(Cb)、フックス(Cl)、オダン(Bn)、  
ヴラトコヴィチ(Hr)、パドモア(Ten)

## 10.7(月) 開演18:30 赤穂化成ハーモニーホール

メンデルスゾーン

演奏会用小品第2番 Op.114

シューベルト

魔王 D 328

シューベルト

弦楽五重奏曲 ハ長調 D 956 ほか

出演 榎本(Vn)、ロメイコ(Vn)、プロフツィン(Vn)、ルベ(Va)、川本(Va)、  
ボルケス(Vc)、趙(Vc)、シェハタ(Cb)、メイエ(Cl)、フックス(Cl)、オダン(Bn)、  
ヴラトコヴィチ(Hr)、ル・サーージュ(Pf)、バックス(Pf)、パドモア(Ten)

## 10.10(木) 開演19:00 姫路城二の丸特設会場

シューベルト

ピアノ五重奏曲「ます」 D 667

フォーレ

歌曲集「優しい歌」 Op.61 ほか

出演 榎本(Vn)、ロメイコ(Vn)、プロフツィン(Vn)、ルベ(Va)、川本(Va)、  
ボルケス(Vc)、趙(Vc)、シェハタ(Cb)、フックス(Cl)、オダン(Bn)、  
ヴラトコヴィチ(Hr)、ル・サーージュ(Pf)、バックス(Pf)、パドモア(Ten)

## 10.13(日) 開演18:00 アクリエひめじ大ホール

シューベルト

弦楽三重奏曲第2番 変ロ長調 D 581

シューベルト

白鳥の歌 D 957 No.8-14

シューベルト

八重奏曲 ヘ長調 D 803 ほか

出演 榎本(Vn)、ロメイコ(Vn)、プロフツィン(Vn)、ルベ(Va)、川本(Va)、  
ボルケス(Vc)、趙(Vc)、シェハタ(Cb)、フックス(Cl)、オダン(Bn)、  
ヴラトコヴィチ(Hr)、バックス(Pf)、パドモア(Ten)

### 姫路市民先行販売 ※姫路市内に住所を有する方対象

応募受付期間 7/1(月)~16(火)

詳細をホームページでご確認の上、応募フォームより  
ご応募ください。

応募  
フォーム



(姫路市民先行販売)

### ファミリーチケット

応募締切 7/12(金)

詳細をホームページでご確認の上、ご応募ください。  
※姫路公演、赤穂公演で申込方法が異なります。

詳細



(ル・ポン公式HP)



榎本 大進 音楽監督/ヴァイオリン

Daishin Kashimoto

フリッツ・クライスラー、ロン＝ティボーの両国際音楽コンクールでの1位など、5つの権威ある国際コンクールで優勝。マゼール、小澤征爾、ヤンソンス、P.ヤルヴィなど著名指揮者のもと、国内外のオーケストラと共演。室内楽でも、クレメール、堤剛などと共演を重ね、現在、兵庫県で「ル・ポン国際音楽祭～赤穂・姫路」を音楽監督として率いている。使用楽器は、株式会社クリスコ(志村晶代表取締役)から貸与された1744年製デル・ジェス「ド・ベリオ」。

主なCDに、ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ全集(ワーナー・クラシックス)など。2010年にはベルリン・フィル第1コンサートマスターに正式就任。ソリスト活動と並行し、ヨーロッパ楽壇の最前線で活躍している。これまで、恵藤久美子、田中直子、ザハール・ブロン、ライナー・クスマウルに師事。

### 関連行事 (入場無料)

#### プリコンサート

10.6(日) 開演14:00 赤穂化成ハーモニーホール 小ホール

#### ロビーコンサート

10.6(日) 本公演開場前 赤穂化成ハーモニーホール ロビー

#### ほのぼのコンサート

10.6(日) 開演11:00 赤穂市民病院 アメニティホール

10.7(月) 開演11:00 赤穂中央病院 シュバイツァーホール

#### ホリデープログラム

10.13(日) 開演13:30 アクリエひめじ 中ホール

■場内案内・通訳をしていただけるボランティアを募集します。  
※詳しくはホームページでご確認ください。沢山のご応募お待ちしております。

HP、各種SNSでチケットの販売情報や、雨天時の会場変更などをリアルタイムで更新!



ル・ポン国際音楽祭  
https://imf-le-pont.jp/



公式「ル・ポン国際音楽祭 赤穂・姫路」  
@lepont\_ah



公式「ル・ポン国際音楽祭 赤穂・姫路」  
@lepont.ako.himeji



公式「音楽のまち・ひめじ」  
@onmachi\_himeji